



三原市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響によって、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。我が国においてもこれまで経験したことのない集中豪雨等による甚大な被害が頻発し、三原市においてもその影響を受けています。

2018年に公表されたICPP（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「気温上昇幅を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示され、2021年の国連の気候変動枠組条約第26回締約国会議においては、「パリ協定が掲げる、世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える努力を追求する」とした成果文書が採択されました。

三原市は、本市がめざす環境像「一人ひとりが輝く環境共生都市 みはら」を実現し、私たちのかけがえのない豊かな自然を守り、未来の子どもたちによりよい姿でつないでいくために、市民や事業者など多様な主体と連携し、『2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ』をめざすことをここに宣言します。

令和4年3月23日

三原市長

岡田吉弘